

「俳詞」決定

都留市制40周年を記念して、市民の皆さんからご応募いただきました都留市民愛唱歌の作詞が、最優秀作詞賞に輝きました前田誠一郎さんの作詞に、作詞家阿久悠先生の補作で、次のとおり決定しました。作曲につきましては、作曲家小林亜星先生が鋭意創作されており、近日中に完成する予定です。

授賞式並びに愛唱歌発表会は、4月29日開催の市制40周年記念式典の中で執り行う予定です。

愛唱歌と受賞作品は、次のとおりです。

都留市民愛唱歌

『今、生きてます』

作詞 前田 誠一郎
補作 阿 久 悠
作曲 小 林 亜 星

一、ふりむくと 富士の山

雪も少なくなりました

春です 都留の春

あなたとともに感じたい

私の家は あのあたり

青空をうつしたような青い屋根

ああ この街に生れ この町で育ち

季節 季節に 息づいて

今 生きてます

三、田園を走るの

二両仕立ての電車です

秋です 都留の秋

あなたとともに感じたい

まつりの音に 誘われて

懐しい昔の顔が 舞い戻る

ああ この街で泣いて この町で笑い

時の流れを 抱きしめて

今 生きてます

二、古くても 新しい

人の匂いの城下町

夏です 都留の夏

あなたとともに感じたい

おもいで語る人もいて

その横に未来を話す人もいて

ああ この街で学び この町で恋し

人の出会いに ときめいて

今 生きてます

四、風花は 手紙です

山の彼方の誰かから

冬です 都留の冬

あなたとともに感じたい

窓から見える 雪の峰

陽の当る心の高さを思わせる

ああ この街が好きで この町を愛し

明日を 未来を 信じつつ

今 生きてます

最優秀作詞賞

『今、生きてます』

作詞 前田 誠一郎

朝露に濡れながら、せどの山に駆け上がる

振り向くと富士山、雪も少なくなりました。

私の家は箱庭の中のマッチ箱

青い屋根が映えて、空を写しているようです。

この街に生まれ、この町で育ち

季節の移り変わりを楽しんで今、生きてます。

寄り添う家並、城下町の匂いを残して

行き交う人々の笑顔が似合います。

お年寄りには昔のことを誇りに思い

若者は未来を見詰め、瞳を輝かしています。

この街で学び、この町で恋をし

人との出会いに感謝をして 今、生きてます。

たんぼの中を二両仕立ての電車が走り

踏切で待つ少女が手を振っています。

自転車の少年に赤とんぼが飛び交い

いよいよ私の好きな祭りが近付きました。

この街で泣いて、この町で笑い

日焼けした顔に汗を流して、今、生きてます。

最優秀作詞賞に選ばれた

前田 誠一郎さん

私は都留市が、都留の自然が大好きです。そんな想いを詩に託したのですが、都留市民愛唱歌に採用されたことは光栄です。



作詞家

阿久悠先生より

最優秀作の補作は実にうまく行くと自賛しております。フォーク調がいいかもしれません。

